

# 行政視察

## 総務常任委員会

総務常任委員会では、3月8日（金）の委員会終了後、匠瑳市横芝光町消防組合横芝光町消防署を視察しました。署員の士気は高く、築48年の庁舎は、最新の指令設備を運用するための建て替えが検討されています。



▲ 総務常任委員会の行政視察

## 文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では、3月11日（月）の委員会終了後、野田小学校において、改修を予定しているブロック塀の現状を視察しました。



▲ 文教福祉常任委員会の行政視察

## 産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、3月12日（火）の委員会中、小高地区の埋立て地を視察しました。職員から概要説明を受けた後、現状を確認しました。



▲ 産業建設常任委員会の行政視察

**答**〔副市長〕 庁内組織で議論した。

**問** 近隣の多古町、横芝光町等は無料化という特殊な条件だ。次年度実施の決断は、

**答**〔市長〕 早い時点で実現できるように努力する。

**問** 財政調整基金が30億円ある。適正額は幾らか。

**答**〔財政課長〕 一般的に標準財政規模の1割、10億円程度。

**問** 20億の余剰、また国も活用を促れとの地域振興基金12億円の活用を。費用対効果で問題があるパークゴルフに5億円より給食に投入すべき。

## 税 務

**答**〔教育長〕 子ども、保護者も予算的に難しいことを説明すれば理解されると思う。

**問** 大木傳一郎議員（日本共産党） 国保税の子どもの均等割廃止。「財調」活用で国保税の引き下げを。

**答**〔市長〕 国や県に市長会等を通じ子どもの均等割額軽減を要請。国保税の引き下げは現状の税率を維持し推移を見守る。

## 文化教育

**大木傳一郎議員（日本共産党）**

**問** 榑海小学校にある樹齢340年の椎の木は文化的教育的役割が大きい、大椎の再現対策は。

**答**〔教育長〕 古くから学校のシンボル。自然を愛する心、命の尊さ、歴史への畏敬の念など役割は大きい。今後、支援したい。

## 建 設

**大木傳一郎議員（日本共産党）**

**問** ひがたメモリアから西に広域農道までの全体的な事業計画見直しと新計画策定は。

**答**〔市長〕 重要な幹線道路として安全確保のための改良工事と歩道整備を推進する。

## 市民病院

**田村明美議員（日本共産党）**

**問** 大規模災害時には県指定の災害医療協力病院となる市民病院の耐震性は。

**答**〔市長〕 耐震基準を満たしていないことには危機感を持っている。



▲ ひがたメモリアから西に広域農道まで伸びる道路

**答**〔市民病院事務局長〕 国土交通省の基準で耐震補強を必要とする数値であった。当時、施設増築に合わせた耐震補強する計画であったが行われていない。施設建替え計画において対応したい。

**問** 災害時の医療提供体制は。

**答**〔市民病院事務局長〕 医薬品は入院患者の7日分、食料と飲料は入院患者の3日分と災害対応職員等の分を備蓄している。災害時には、市民病院災害対策本部を立ち上げ、本部長の指示のもと、中等症・重症の患者受け入れとトリアージの実施、必要に応じ重症者を旭中央病院等に搬送する。

## 環境

**田村明美議員（日本共産党）**

**問** 市の新条例案では、再生土は建設資材なので埋立てに使用できるとして禁止していないが、地域の実態から、禁止すべきではないか。

**答**〔環境生活課長〕 産業廃棄物のリサイクル促進の観点からも、再生土等の建設汚泥再生品の利用拡大は非常に重要だと考えるので、再生土等による埋立ての全てを市条例案で禁止する考

**答**〔市民病院事務局長〕 7、200万円程度の赤字見込み、改革プランの比較で2、160万円程度の赤字拡大見込みである。

**問** 年度末の病院会計のキヤッシュフローはどの位を見込んでいるのか。病院規模の割合で、1、000万円位の残高で無理ではないのか。

**答**〔市民病院事務局長〕 大変厳しいと思う。

えはない。

## 環境衛生問題

**田村明美議員（日本共産党）**

**問** 広域ごみ処理施設の総事業費、事業内容に係る財政負担の現状内容は。

**答**〔市長〕 排水路用地購入費用など一部未算定の事業費があるが、総事業予算は概算301億4、600万円となっている。事業内容は広域ごみ処理施設費用が236億8、700万円、広域最終処分場費用が40億9、300万円、中継施設費用が18億5、900万円、周辺環境整備等費用が5億700万円である。

**問** 建設中の最終処分場で工事中に大量の産業廃棄物が発見されたということだが、これは事実か、処理はどうするのか。

**答**〔市長〕 事前に試掘をしたが出てしまったのは事実である。産廃の処理費用はかなりの高額を見込んでいる。

## 企 画

**林明敏議員（市民クラブ）**

**問** オリンピックについて、匠瑳市はホストタウンに登録されていない。市民がオリンピックの感動を肌で感じられるよう、当市を聖火が通過し、市民がランナーになれるように、どのような取り組みを行っているか。

**答**〔市長〕 ルートの選定については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と各都道府県において協議が進められており、本年夏頃、全国ルート概要が公表される。昨年7月4日には「聖火リレーのルートに係る要望書」を森田千葉県知事に提出した。